



1 山本鼎 ブルトンヌ 木版 36 × 28 大正9年(1920)

10,000,000 円

鼎の版画制作期は極めて短く、この「ブルトンヌ」で木版画制作を終えている。鼎の代表作であり日本の近代版画史上欠かせない作品となっている。鼎の支援者であった渡辺六郎の旧蔵品である。



2 山本鼎 ブルターニュの小湾 木版 15 × 21 大正2年 (1913)

1,800,000 円

鼎はフランスから帰って後、日本創作版画協会（1918年創立）、日本版画協会（1931年創立）の設立に奔走するが、この作品は第1回日本創作版画協会展（1919）の出品作であり、鼎の代表作の一つである。渡辺六郎旧蔵。



3 山本鼎 城外の子供 木版 22 × 25 大正6年（1917）

2,500,000 円

「みづゑ」第169号（1917）に図版として掲載されているだけでオリジナル版画作品としては未確認だったものである。初出品。渡辺六郎旧蔵。



4 山本鼎 セーヌ河畔の村 木口木版 12 × 15.5 大正2年（1913）

1,500,000 円

明治35年（1902）に東京美術学校に入学する前、10歳の頃から木口木版の職人として働いていた経歴から技術には長けており、その線描はいきいきとしている。渡辺六郎旧蔵。



5 山本鼎 支那の少女

木版 11.5 × 9 大正元年（c 1912）頃

3,000,000 円

第1回日本創作版画協会展（1919）の出品作であり、当時の
展覧会図録には記載があるが、現在まで作品としては未確認
のものであった。初出品。渡辺六郎旧蔵。



6 山本鼎 リュクサンプール公園（河畔の釣り人）

木版 11 × 17.2 大正2年（c 1913）頃

2,000,000 円

この作品も第1回日本創作版画協会（1919）の出品作でありながら、現在に至るまで作品としては初所見である。初出品。渡辺六郎旧蔵。



7 山本鼎・坂本繁二郎 草画 舞台姿 第1-3集

木版 全12枚 山本鼎6枚：高麗蔵の智恵内／宗十郎のなまづ／一鶴の花和尚／律子のボーイ／長十郎の無官太夫
敦盛／梅幸の幸之助 坂本繁二郎6枚：宗之助の皆鶴姫／宗十郎の榛澤平九郎／浪子の静子／高麗太郎の長作／訥
子の松平吉峰／高麗蔵の姉輪平次 各帙（木版装）渡辺六郎旧蔵 26.3×18.9（紙サイズ）東京版画倶楽部 明治
44年（1911）

540,000 円





8 美術文芸雑誌 方寸

全 35 冊＋別刷付録「絵暦」2 冊（石版刷）山本鼎・森田恒友・石井柏亭・倉田
 白羊・小杉放庵・織田一磨・坂本繁二郎他 図版多数（木版・石版・活版・凸版・
 ジンク版・写真他）背外レ（1 巻 5 号・2 巻 6 号・3 巻 3 号）
 経年シミ・傷ミ 方寸社 明治 40-44 年（1907-11）

1,850,000 円

※明治 40 年、山本鼎・石井柏亭・森田恒友の 3 人が創刊した創作版画と美術評論
 を中心とした月刊同人誌。画家・版画家・評論家などいずれも 20 代の作家たちで、
 編集方法や紙面構成は、ドイツの漫画雑誌「ユーゲント」等に影響された造本とな
 っている。美術雑誌の草創期に出版された「方寸」は、その後に刊行される版画雑
 誌や日本の美術雑誌に大きな影響を与えている。完全揃いは極めて貴重。





9 創作版画雑誌 HANGA 第6輯

木版 全10枚 旭正秀／稲垣知雄／森谷利喜雄／永瀬義郎／諏訪兼紀／山口進／藤田嗣治（複製）／平塚運一（複製）／森山収二（複製）／西田武雄（複製）非売品 目次（傷ミ）袋（平川清蔵原作木版・傷ミ）
大正14年（1925） 65,000円

10 版画集 ばれん 第2号

全10枚 織田一磨／川合喜二郎／橋口康雄／旭正秀他 限100 木版装
随筆・詩：織田一磨：緑の上高地／橋口康雄：五葉と怪奇／金子光晴：章句他 藤田嗣治他カット ばれん会 昭和24年（1949）

25,000円



11 木版画集 大正震災画集

全26枚 耕洋／紅涯／紫雲／雲峰／如洗／洗厓／春帆／白帆／洗鱗 漆原宏志喜編 経年少シミ・波打 帖仕立 別冊各図解説 帙（端部傷ミ）18.5×24（画寸）絵巻研究会 大正15年（1926） 140,000円